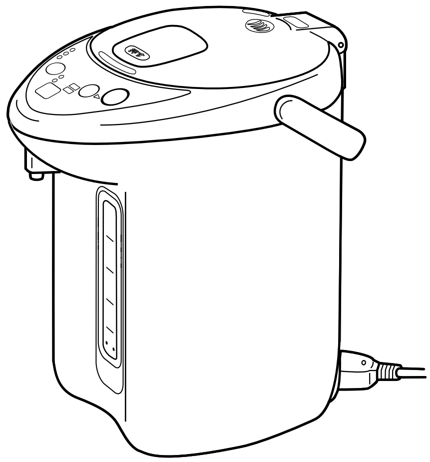
TIGER
タイガー魔法瓶

品番
PVH-B 型

タイガー
VE 電気まほうびん
〈とく子さん®〉

取扱説明書〈保証書つき〉

このたびは、お買い上げまことにありがとうございます。ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。



点検、修理などを依頼されるときなどに記入しておくと便利です。

ご購入年月日	年　月　日
ご購入店名	TEL　（　）

給湯時のお願い

沸とう直後に給湯を行うとお湯が出にくくなることがあります。その場合は、蒸気に注意して、一度上ぶたを開けていただくと直ります。

日本国内100V専用（交流100V以外の電源では使用できません）

もくじ

省エネVE※保温

W（ダブル）ステンレス製まほうびんの高真空２重瓶と電気保温を併用した経済的な保温方式。
「90保温」との組み合わせで、さらに保温時の電気代が節約できます。
（※VEはVacuum（真空）＋Electric（電気）の略称です。）



※保温効力が大変優れていますので、沸とうしてから設定した温度に下がるまで時間がかかる場合があります。

1 安全上のご注意

ご使用前によくお読みの上、必ずお守りください。

※お使いになる人や他の人々への危害や損害を未然に防止するために必ずお守りください。
※本体に貼付しているご注意に関するシールは、はがさないでください。
※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

注意事項は、誤った使いかたで生じる危害や損害の程度を、以下の表示で区分しています。

⚠ 警告
「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示します。

⚠ 注意
「傷害を負う、または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容を示します。

絵表示の例

この絵表示は行為を「禁止」する内容です。
（分解禁止）

この絵表示は行為を「強制」したり、「指示」したりする内容です。
（強制・指示）　（差し込みプラグを抜く）

乳幼児のいらっしゃるご家庭でご使用の場合は特にご注意ください。

⚠ 警告

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない。
やけど・感電・けがをするおそれ。



器具用プラグをなめさせない。
乳幼児が誤ってなめないように注意すること。
感電やけがの原因。



蒸気孔に顔や手を近づけない。
やけどをするおそれ。
特に乳幼児にはさわらせないように注意すること。

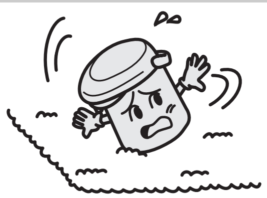


上ぶたを「カチッ」と音がするまで確実に閉める。
倒れたときにお湯が流れ出て、やけどのおそれ。



⚠ 注意

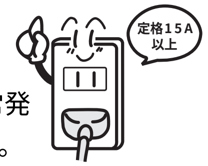
不安定な場所や家具の上、熱に弱い敷物の上では使用しない。
倒れたときに、お湯が流れ出て、やけどのおそれ。
また、火災の原因。



⚠ 警告

交流100V以外では使用しない。
火災・感電の原因。

定格15A以上のコンセントを単独で使用する。
他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して、発火するおそれ。



電源コードは、破損したまま使用しない。また、電源コードを傷つけない。
（加工する・無理に曲げる・高温部に近づける・引っ張る・ねじる・たばねる・重いものを載せる・挟み込むなど）
火災・感電の原因。

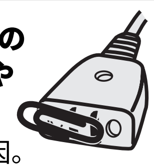
ぬれた手で、差し込みプラグの抜き差しをしない。
感電やけがをするおそれ。

差し込みプラグにほこりが付着している場合は、よくふき取る。
火災の原因。

差し込みプラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。
感電・ショート・発煙・発火のおそれ。

電源コードや差し込みプラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。
感電・ショート・発火の原因。

器具用プラグ（磁石式）の先端にピンなど金属片やごみを付着させない。
感電・ショート・発火の原因。



上ぶたを勢いよく閉めない。
お湯がふきこぼれ、やけどのおそれ。

満水目盛以上の水を入れない。
お湯がふきこぼれ、やけどのおそれ。



抱きかかえたり、傾けたり、ゆすったり、上下に勢いよく振ったり、衝撃を加えない。上ぶたを持って移動しない。
「ロック」にしていても、傾けたり倒したりしない。
お湯が流れ出てやけどのおそれ。



ポットを転倒させない。
「ロック」にしていても、傾けたり倒したりしない。
お湯が流れでて、やけどのおそれ。

水につけたり、水をかけたりしない。
ショート・感電・発火のおそれ。



蒸気孔をフキンなどでふさがない。
お湯がふきこぼれて、やけどをするおそれ。



水以外のものをわかさない。
お茶、牛乳、酒、ティーバッグやお茶の葉、インスタント食品などを入れて使用すると、泡立ってふきこぼれ、やけどのおそれ。また、こげつき・腐食・故障・フッ素加工のはがれの原因。

氷を入れて保冷用に使わない。
冷たい水や氷を入れると結露が生じ、感電・故障のおそれ。

⚠警告

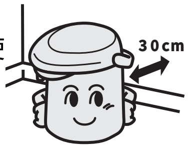
上ぶたをつけたまま、残り湯を捨てない。
上ぶたがはずれたとき、お湯がかかってやけどをするおそれ。
（残り湯の捨てかたは、5ページを参照）



改造はしない。
修理技術者以外の人は分解したり、修理をしない。
火災・感電・けがの原因。

⚠注意

壁や家具の近くでは使わない。
蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色、変形の原因。
キッチン用収納棚などを使うときは、中に熱がこもらないように注意すること。

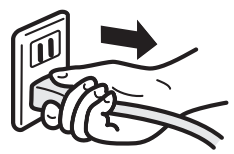


この製品専用の電源コード以外は使用しない。電源コードを他の機器に転用しない。
故障・発火のおそれ。



使用時以外は差し込みプラグをコンセントから抜く。
けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因。

必ず差し込みプラグを持って引き抜く。
感電や、ショートして発火するおそれ。



使用中や使用後しばらくは高温部にふれない。
やけどの原因。

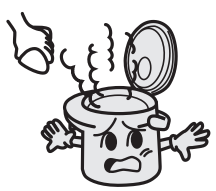
上ぶたを開けるときに出る蒸気にふれない。
やけどの原因。

湯わかし中は、お湯を注がない。
お湯が飛び散り、やけどの原因。

給湯中に本体を回さない。
お湯が飛び散り、やけどのおそれ。

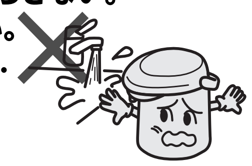
本体を持ち運ぶときは、上ぶたの開閉レバーにふれない。
上ぶたが開いてけがややけどをするおそれ。

お手入れは冷えてから行う。
高温部にふれ、やけどのおそれ。

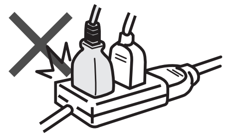


お願い

●水のかかりやすい場所では使用しない。丸洗いはしない。底部はぬらさない。蛇口から直接水を入れない。
本体内部に水が入り、ショート・感電・故障の原因。



●タコ足配線はしない。
火災のおそれ。



●熱に弱いテーブルなどの上に置かない。
テーブル、敷物などが変色・変形するおそれ。

●直射日光が長時間あたる場所では使用しない。
本体が熱くなるなど、故障の原因。

●蒸気孔をフキンなどでふさがない。
上ぶたの変形の原因。



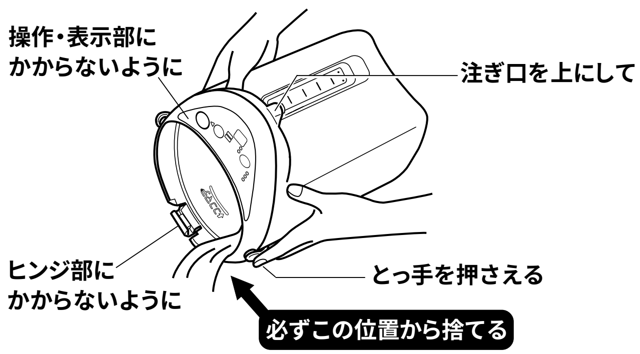
●火気の近くでは使用しない。
変形・故障の原因。

●カラだきをしない。
水を入れないで通電すると、内容器の熱変色、故障の原因。

●備長炭などの炭を入れて使用しない。
故障、フッ素加工のはがれの原因。

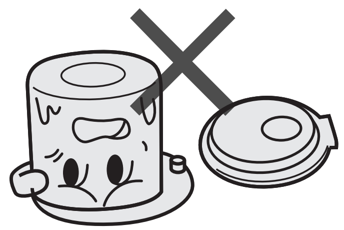
末永くご使用いただくために、必ずお守りください。

●残り湯を捨てるときは、必ず下図の方向から捨てる。



別の位置から捨てると、本体内部にお湯が入って故障の原因。
またやけどのおそれ。

●本体をさかさにして置かない。



底部が水にぬれていると、底部から水が本体内部に入り、故障の原因。水のかかりやすい場所や底部がぬれるような所に置いて、使用しない。

説明マークについて

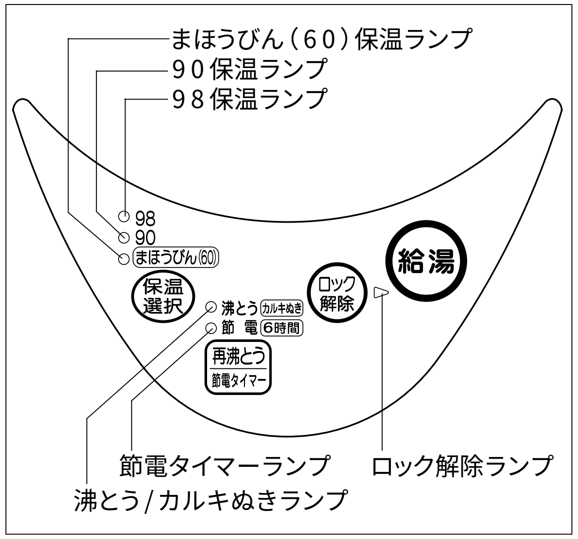
本文中に記載されている説明マークは、下記の意味があります。

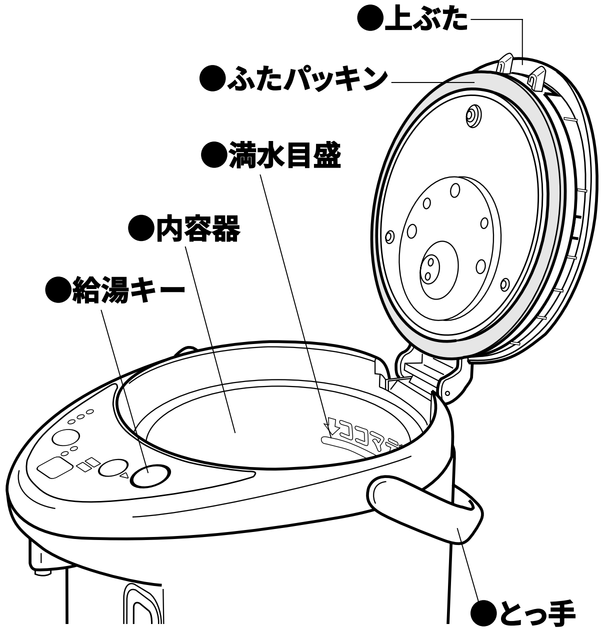


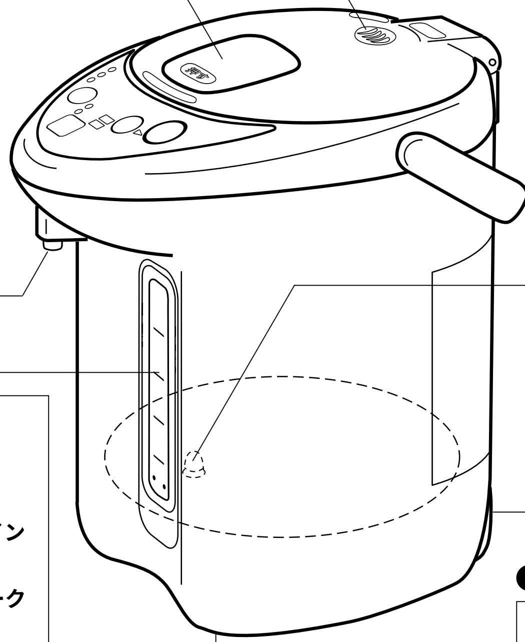
商品を末永くお使いいただくためのご注意を記載しています。

2 各部のなまえ

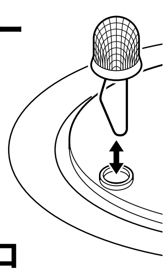
●操作・表示部



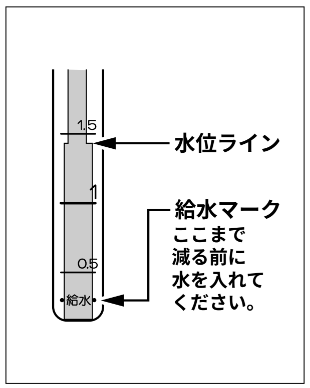




●メッシュフィルター
内容器の底の穴にセットされています。確実に差し込まれているか確認をしてください。

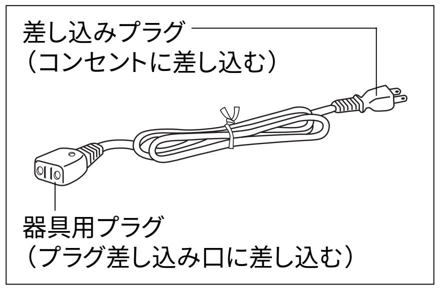


●水量表示計



●底部
360度回転します。プラグ差し込み口も同時に回ります。

●電源コード

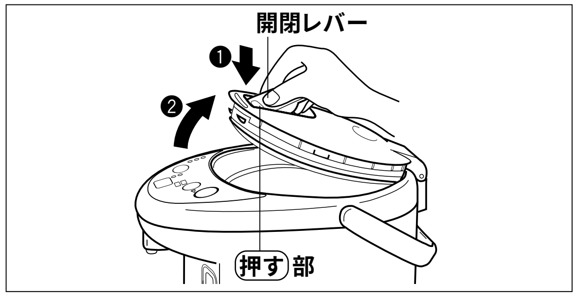


3 各部の使いかた

〈上ぶたの開けかた・閉めかた〉

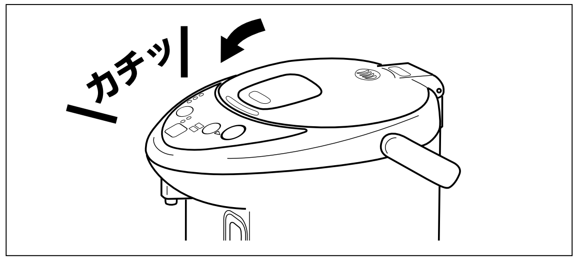
開けかた

開閉レバーの押す部を親指で押してつまみあげ、上ぶたを開けてください。



閉めかた

「カチッ」と音がするまで、上ぶたを閉めてください。

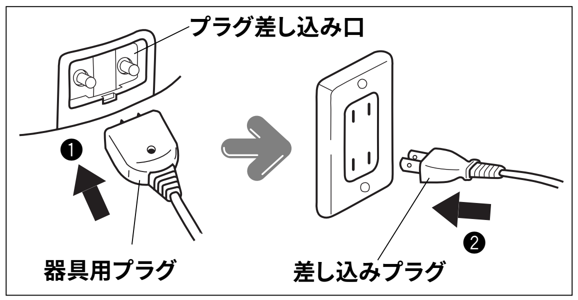




上ぶたが確実に閉まっていないと、沸とうが止まらなくなったり、倒れたときにお湯が大量に出て、やけどをするおそれがあります。

〈電源コードの接続のしかた〉

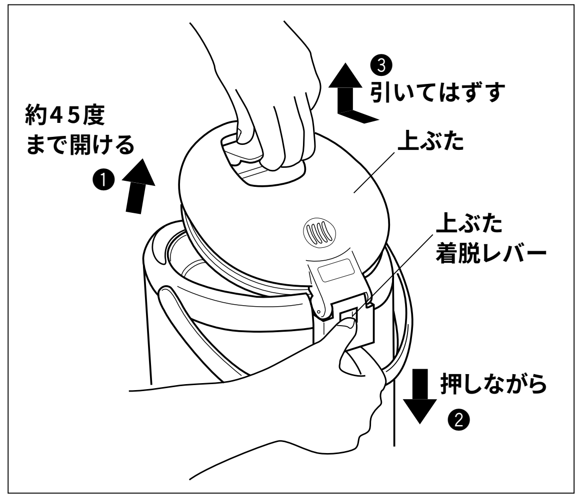
電源コードの器具用プラグは、本体のプラグ差し込み口に差し込んでください。
器具用プラグには、磁石がついています。
電源コードの差し込みプラグは、コンセントに差し込んでください。



〈上ぶたのはずしかた・つけかた〉

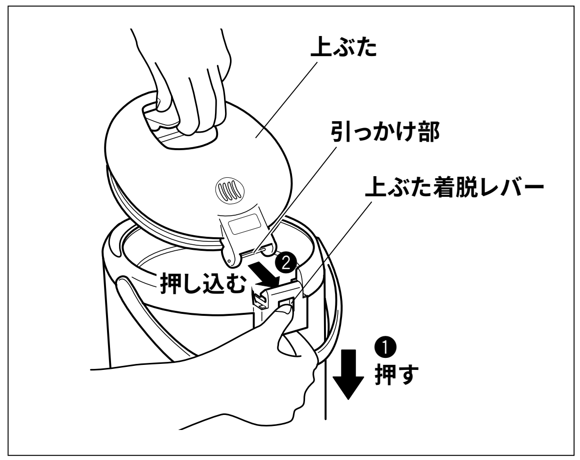
はずしかた

上ぶたを約45度の位置まで開け、上ぶた着脱レバーを押しながら、上ぶたを注ぎ口の方向に引いてはずしてください。



つけかた

上ぶた着脱レバーを押しながら、上ぶたの引っかけ部を押し込んでください。



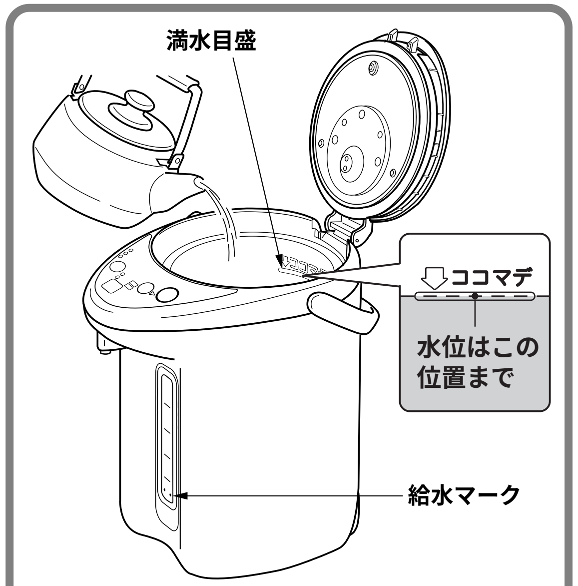
〈操作キーの押しかた〉

操作キーは、指の腹でしっかり押し、ランプの表示で確認してください。

4 お湯のわかしかた

※はじめてお使いになるときや、しばらく保管されていたときは、一度手順どおりにお湯をわかしてください。
電動給湯で注ぎ、そのお湯を捨ててからお使いください。

1 上ぶたを開け、やかんなどで水を入れる。



水は「給水マーク」以上から「満水目盛」までの間に入れてください。

※上ぶたを開閉するときに「カラカラ」と音がしますが、万一転倒した場合にお湯の流出を防止する弁（せんバルブ）の音で異常ではありません。

ご注意
- 「満水目盛」を超えて水を入れないでください。お湯がふきこぼれて、やけどをするおそれがあります。
- 「給水マーク」以下の水でわかさないでください。カラだきによる内容器の変色、故障のおそれがあります。
- 水道の蛇口から直接水を入れないでください。あふれるとショートや感電の原因になります。
- 水を操作・表示部にかけないでください。感電や故障の原因になります。
- ミネラルウォーターやアルカリイオン水を入れたときは、こまめにお手入れしてください。（P.12参照）

2 上ぶたを閉める。（P.7参照）

3 電源コードを接続する。（P.7参照）



沸とう/カルキぬきランプが点灯し90保温ランプが点滅します。湯わかしが開始されます。

※湯わかし中に「ゴー」と音がしますが、湯わかし中に発生する泡がはじける音で故障ではありません。

ご注意
- 内容器が汚れていますと、湯わかし中の音が特に大きくなりますので、内容器をクエン酸で洗浄してください。（P.12・13参照）

カラだき防止報知機能について
- 内容器に水が入っていない状態や、ごく少量の水量でお湯をわかしますと、ランプが交互に点滅してお知らせし、ヒーターへの通電がとまります。（P.14参照）

4 「98保温」または「まほうびん（60）保温」にするときは、［保温選択］キーで選択する。（P.10参照）

沸とうから、「90保温」「まほうびん（60）保温」になるまでは時間がかかります。（時間の目安→P.13参照）

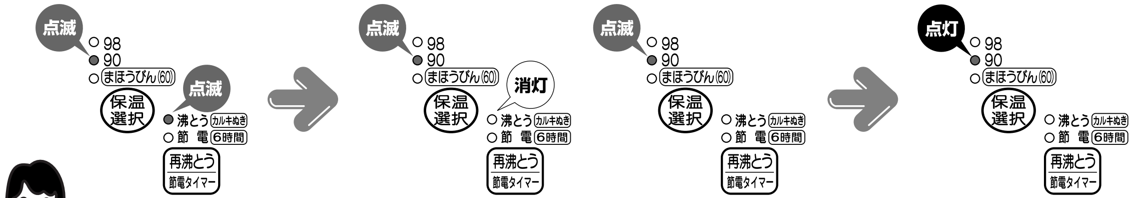
5 カルキぬきをするときは、［再沸とう/節電タイマー］キーで選択する。（P.11参照）

6 節電タイマーにセットするときは、［再沸とう/節電タイマー］キーで選択する。（P.11参照）

「沸とう」から「90保温（約90℃）」になるまでの作動について

1 沸とうすると…
沸とう/カルキぬきランプが点灯から点滅に変わった後、消灯します。（沸とうするまでの時間→P.13参照）

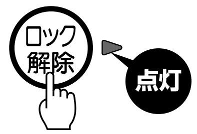
2 90保温（約90℃）になると…
90保温ランプが点滅から点灯に変わります。（90℃になるまでの時間→P.13参照）



ご注意
- 湯わかし中や直後は、上ぶたを勢いよく開閉したり、お湯を注いだりしないでください。お湯が飛び散ったり、蒸気孔から蒸気がふき出して、やけどをするおそれがあります。
- 蒸気孔から出る蒸気にふれないでください。やけどをするおそれがあります。

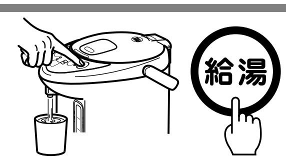
5 お湯の注ぎかた

1 ［ロック解除］キーを1回押す。



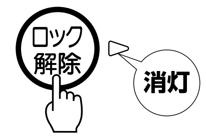
ロック解除ランプが点灯します。

2 お湯を入れる容器を注ぎ口に合わせ、［給湯］キーを押す。



押している間は作動音がして、注ぎ口からお湯が出ます。お湯が途切れるのを確認してから容器を注ぎ口から離してください。

3 ［ロック解除］キーを1回押す。



ロック解除ランプが消灯します。［給湯］キーがロックされ、押しても給湯ができません。

※プラグをはずすと、給湯ができません。

※沸とう直後に給湯を行うと、お湯が出にくくなることがあります。その場合は、蒸気に注意して一度上ぶたを開けると直ります。また、内容器や内部のポンプが汚れていますと、お湯が出にくくなることがありますので、クエン酸洗浄を行ってください。（P.12・13参照）

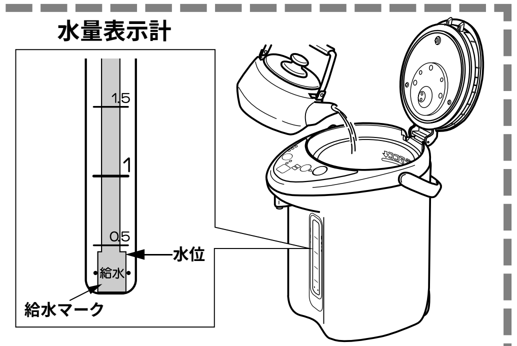
※［給湯］キーを押して給湯した後、［ロック解除］キーを押さなくても約20秒後にロック解除ランプが消灯して、給湯が「自動ロック」されます。

ご注意
- お湯を注ぐとき、本体がまわらないように注意してください。お湯が飛び散り、やけどをするおそれがあります。
- お湯の量が少なくなると、注ぐときにお湯が勢いよく出て飛び散ることがありますので、注意してください。

お湯が給水マークの近くまで減ったときは…

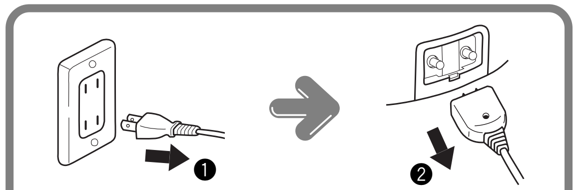
水量表示計の水位が給水マークに近づいてきたら、上ぶたを開け、水を入れてください。自動的に湯わかしが開始されます。

ご注意
- 約50℃以上のお湯を入れると、自動的に湯わかしが開始されません。少し冷めたお湯か水を入れてください。または、再沸とうさせてください。（再沸とうのしかた→P.11参照）
- 上ぶたを開けるときは、蒸気にふれないでください。やけどをするおそれがあります。



6 使い終わったら

1 電源コードのプラグをはずす。



点灯しているすべてのランプが消灯します。

2 上ぶたをはずす。（はずしかた→P.7参照）

3 P.5の要領で、残り湯を捨てる。

4 上ぶたを取りつける。（取りつけかた→P.7参照）

ご注意

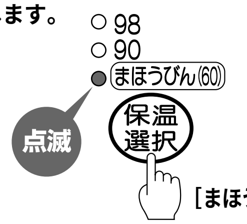
- 勢いよくお湯を捨てないでください。また、できるだけお湯をすてる場所にポットを近づけて捨ててください。お湯が飛び散ってやけどをするおそれがあります。
- 残り湯は放置しないでください。内容器の変色やにおいの原因になります。
- メッシュフィルターは、こまめに水洗いすると目づまりが少なくなります。
- 上ぶたをつけたままや、注ぎ口を下にしたり、ヒンジ部から残り湯を捨てると、お湯が手にかかってやけどをしたり、故障の原因になります。
- メッシュフィルターの取りつけが不充分ですと、残り湯を捨てたときに、抜け落ちることがありますのでご注意ください。

7 保温について

お湯の保温温度が９８保温（約９８℃）、９０保温（約９０℃）、まほうびん（６０）保温（約６０℃）の３段階に選べます。
本体に通電されると、はじめに９０保温ランプが点滅し、「９０保温」に設定されます。

保温選択のしかた

保温選択キーを１回押すごとに、表示部のランプが移動します。



※現在設定している温度より高い温度に切り替えた場合は、沸とうする場合があります。

［まほうびん（６０）保温を選択した場合］

９０保温に設定した場合

沸とう後、約９０℃になるまで９０保温ランプが点滅します。お湯が約９０℃になると、９０保温ランプが点灯に変わります。（９０保温になるまでの時間の目安→P.１３参照）

９８保温に設定した場合

沸とう後、約９８℃の高温に保ち続けます。

まほうびん（６０）保温に設定した場合

沸とう後、約６０℃になるまでは、まほうびん（６０）保温ランプが点滅します。お湯が約６０℃になると、まほうびん（６０）保温ランプが点灯に変わります。［まほうびん（６０）保温になるまでの時間の目安→P.１３参照］

ご注意

９８保温・まほうびん（６０）保温に設定中にプラグがはずれると、再度プラグを接続したとき、「９０保温」に設定されますので、再設定してください。

調乳について［まほうびん（６０）保温］

まほうびん（６０）保温（約６０℃）は、雑菌の繁殖を防ぎ、また粉ミルクを溶かすのにも適した保温温度です。まほうびん（６０）保温のお湯で調乳後、人肌よりも少し熱め（約４０℃）まで冷ましてから赤ちゃんに授乳してください。そうしない場合、やけどをするおそれがあります。

ご注意

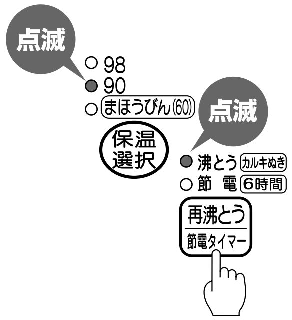
- 内容器に直接粉ミルクを入れないでください。こげつき・腐食・故障・やけどの原因になります。調乳は必ず哺乳びんで行ってください。
- ９８保温（約９８℃）または、９０保温（約９０℃）のお湯でそのまま調乳しないでください。熱すぎて粉ミルクの成分が損なわれてしまいます。

8 カルキぬきのしかた

カルキぬきは、沸とう中の時間を延長して、お湯のカルキ臭を減らす機能です。

水からの湯わかし時にカルキぬきをする場合

電源コードの接続（通電）後、再沸とう/節電タイマーキーを１回押してください。沸とう/カルキぬきランプが点滅し、「カルキぬき」の設定でお湯をわかします。

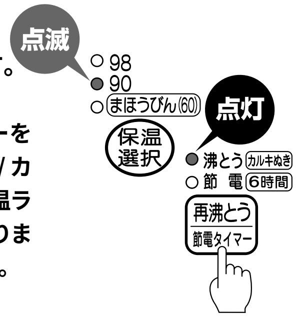


保温時にカルキぬきをする場合

再沸とう/節電タイマーキーを２回押してください。沸とう/カルキぬきランプが点滅し、「カルキぬき」の設定で再沸とうさせます。
終了すると、沸とう/カルキぬきランプが消灯します。
※カルキぬきをすると、通常の沸とう時よりも蒸気の出る時間が長くなり、量も多くなります。

9 再沸とうのしかた

保温中のお湯を、再び沸とうさせる機能です。
保温の状態で、再沸とう/節電タイマーキーを１回押してください。沸とう/カルキぬきランプが点灯し、保温ランプが点灯から点滅に変わります。再沸とうが開始されます。



ご注意

再沸とうさせるときは、給水マーク以上のお湯が入っていることを確認してから行ってください。

〈満水時、再沸とうに要する時間の目安〉

	2.2タイプ	3.0タイプ
98保温	約4分	約5分
90保温	約8分	約10分
まほうびん(60)保温	約13分	約17分

（水量・満水　室温・２０℃　電圧・交流１００V）

※水をつぎ足したり、プラグを差し込みなおしたときは、さらに約３～４分長くなります。

10 節電タイマーの使いかた

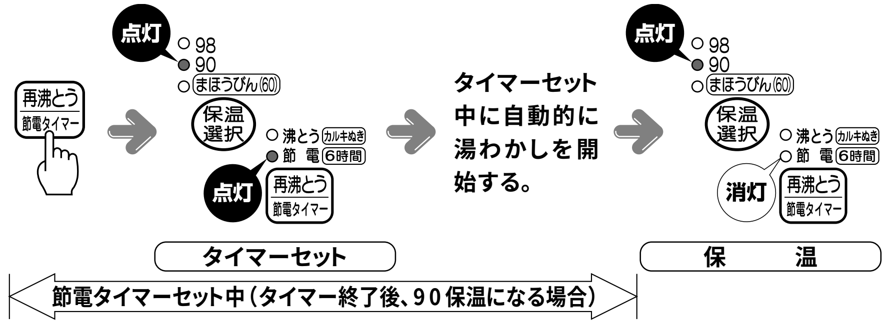
外出するときやお休みする前に節電タイマーをセットすると、通電を止めますので電気代が節約できます。セットしてから約６時間後には、お湯がわいて通常通り使用できます。

節電タイマーのセットのしかた

再沸とう/節電タイマーキーを押して、節電タイマーランプを点灯させてください。

ご注意

節電タイマーをセットすると、まほうびん（６０）保温は選択できません。また、給湯もできません。



節電タイマーのセットを解除して、湯わかしをする場合

再沸とう/節電タイマーキーを押して、沸とう/カルキぬきランプを点灯させてください。保温ランプが点灯から点滅に変わり、湯わかしが開始されます。

11 お手入れのしかた

ご注意
- ●水につけたり、水をかけたりしないでください。ショート・感電のおそれがあります。
- ●丸洗いは絶対にしないでください。本体内部に水が入り、故障の原因になります。
- ●お手入れするときは、プラグをはずし、残り湯を捨てて、本体が冷えてから行ってください。
- ●洗剤・シンナー・クレンザー・金属たわし・化学ぞうきん・ナイロンたわし・漂白剤などは使わないでください。
- ●食器洗浄機や食器乾燥器などの使用はしないでください。変形するおそれがあります。

内容器のお手入れ

内容器の色むらや変色、水中の白い浮遊物について

内容器にできるサビのような赤いはん点、乳白色・黒色・虹色などの変色、白い浮遊物は、水に含まれるミネラル成分（カルシウム・マグネシウム・鉄分など）の作用によるものです。内容器自体の変色や腐食、フッ素樹脂のはがれではありません。衛生上問題がありませんが、汚れが目立ってきたら、こまめにお手入れしてください。

①通常はメッシュフィルターをはずしてからスポンジで洗ってください。

ご注意
- ●クレンザーやたわし類を使わないでください。フッ素加工面が傷み、汚れが落ちにくくなります。
- ●内容器はフッ素加工されていますが、長期間お手入れしないと、汚れがこびりついて落ちにくくなったり、湯わかし中の音が大きくなったりしますので、こまめにお手入れしてください。
- ●カラだきによる変色はとれません。

②スポンジで洗っても落ちにくい汚れは、クエン酸（別売）で洗浄（2～3カ月に1回）してください。（下記・P.13参照）

ご注意
ミネラルウォーターやアルカリイオン水を湯わかしした場合は、内容器にカルシウム分が付着しやすくなったり、また付着したカルシウム分がはがれて本体内のお湯や蒸気の出口をふさぐ場合があります。故障の原因にもなりますので、よりこまめにお手入れしてください。

上ぶた・本体外側のお手入れ

よくしぼったふきんで汚れをふき取ってください。

電源コード

乾いた布でふいてください。

メッシュフィルター

内容器からはずしてブラシなどでこまめに洗ってください。目づまりするとお湯が出にくくなります。洗った後は、必ず内容器に取りつけてください。

長期間ご使用にならないときは

上ぶた・本体・内容器などの汚れを落とし、乾いた布でふき、自然乾燥してください。（特に内容器は充分に）保管するときは、ポリ袋などで密封して虫やほこりなどが入らないようにしてください。

クエン酸洗浄のしかた

ご注意
下記の内容を必ず守ってください。泡立ってお湯がふきこぼれたり、やけどのおそれがあります。
- ●お湯は入れないでください。必ず水から洗浄を行ってください。
- ●満水目盛以上の水を入れないでください。
- ●洗浄中は、上ぶたを開けないでください。
- ●洗浄中は、沸とうするので蒸気に注意してください。

※クエン酸洗浄中は、他の操作や機能は使えません。

クエン酸は、お求めのタイガー製品販売店または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口（連絡先→P.15参照）で、「電気ポット内容器洗浄用クエン酸（約30g×4包入り）」品番:PKS-0120とご指定の上、お問い合せください。
※内容器洗浄用クエン酸は食品添加物につき、食品衛生上無害です。

次ページに内容が続く

内容器のクエン酸洗浄（2～3カ月に1回の目安で行う）

1 メッシュフィルターは内容器に取りつけておく。

2 クエン酸 約30g（大さじ2～3杯）を内容器に入れる。



3 満水目盛まで水を入れて混ぜ合わせ、上ぶたを閉める。

4 プラグを差し込み、保温選択キーと再沸とう/節電タイマーキーを同時に約3秒間押し続ける。



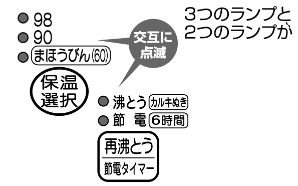
洗浄が開始されます。
洗浄中はランプが、沸とう/カルキぬき→節電→まほうびん（60）→90→98と順に点灯して知らせます。



ご注意
- ●クエン酸洗浄中は、沸とうしますので蒸気にご注意ください。
- ●クエン酸洗浄を一度セットするとプラグを抜くまで解除されませんのでご注意ください。

洗浄時間は約1時間30分以内

5 洗浄が終わると3つのランプ［98・90・まほうびん（60）］と2つのランプ（沸とう/カルキぬき・節電）が交互に点滅した状態になります。



6 プラグをはずしてお湯を捨て、汚れが残っている場合はスポンジでこすり落とし、水で充分すすぐ。
※汚れが落ちにくい場合は、水ですすいだ後、再度クエン酸と水を入れて同じ操作を行ってください。

7 クエン酸のにおいを取るため、水だけで再度通常通りにわかしてお湯を捨てる。

内部のポンプのクエン酸洗浄（半年に1回の目安で行う）

内部のポンプにミネラル成分が固まって、お湯の出具合が悪くなることがあります。そのときは、下記の手順で内部のポンプをクエン酸で洗浄してください。

1 メッシュフィルターを内容器からはずす。

2 クエン酸　約30g（大さじ2～3杯）を、コップ1杯のお湯（約200mL）で溶かし、内容器の底の穴に入れる。

3 内容器の3分の1まで水を入れ、上ぶたをしめ、プラグを差し込んで沸とうさせる。（90保温を選択）

4 90保温の状態で、2～3時間放置する。

5 給湯キーを押して、お湯（クエン酸の液）を全部注ぎ口から出す。

6 プラグをはずし、冷めてから内容器をスポンジで水洗いする。

7 クエン酸のにおいを取るため、水だけで再度通常通りにわかしてお湯を捨て、冷めてからメッシュフィルターを取り付ける。

沸とう時間・設定した保温温度になるまでの時間の目安

〈沸とうするまで（98保温選択時）〉

2.2タイプ	3.0タイプ
約19分	約24分

（水量・満水　室温・20℃　電圧・交流100V）
※沸とうすると同時に、98保温ランプが点灯します。

〈設定した保温温度になるまで〉

沸とう後	2.2タイプ	3.0タイプ
90保温になるまで	約1時間30分	約1時間40分
まほうびん(60)保温になるまで	約6時間30分	約8時間30分

（水量・満水　室温・20℃　電圧・交流100V）

故障かな?と思ったら

修理を依頼する前に、次の点をお調べください。
下記の点検・処置をしても改善されないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

⚠警告	修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない。

こんなときは	ここを確認して	こう処置してください	参照ページ
ランプが交互に点滅する。（カラだき報知機能が作動）	カラまたはごく少量の水量で湯わかししていませんか。	プラグを抜き、水を給水マーク以上まで入れて、しばらくしてからプラグを接続してください。	7・8
	お湯を使い切ったまま長時間放置したり、給水するために上ぶたを開けたままで放置していませんか。		
	水をつぎたしたときに、勢いよく水を入れませんでしたか。	プラグを抜き、しばらくしてからプラグを接続してください。	7・8
お湯がわかない。（すべてのランプがつかない、または消えた。）	プラグがはずれていませんか。	プラグを接続してください。	7
沸とう/カルキぬきランプに切り替わらない。	約50°C以上のお湯を入れていませんか。	少しさめたお湯か水を入れてください。	9
		再沸とう/節電タイマー キーを押して沸とうさせてください。	11
蒸気が出終わっても、沸とう/カルキぬきランプが点灯している。	沸とう直後に給湯しますと、発生した泡がポンプに入ってお湯が出にくくなったり、お湯が飛び散ることがあります。これを防ぐために蒸気が出終わっても、沸とう/カルキぬきランプが約3分間点灯しています。		—
お湯が出ない、出にくい。	本体を傾けた状態で給湯していませんか。	本体をまっすぐにしてください。傾けた状態で給湯すると、お湯が出ない場合があります。	—
	プラグがはずれていませんか。	プラグを接続してください。	7
	自動ロックになっていませんか。	ロック解除 キーを1回押してください。ロック解除ランプが点灯して、給湯ができます。	9
	沸とう直後ではありませんか。	沸とう直後に給湯しますと、お湯が出にくくなることがあります。蒸気に注意して、一度上ぶたを開けてください。	9
	内容器やメッシュフィルター、内部のポンプが汚れているとお湯が出にくくなることがあります。	内容器をクエン酸で洗浄してください。	12・13
お湯が自然に出る。	水を「満水目盛」を超えて入れていませんか。	「満水目盛」以下にしてください。	8
お湯がにおう。	ご使用当初は、樹脂などのにおいがすることがあります。ご使用とともに少なくなります。		—
	ビニールシートなどの敷物の上で使用していませんか。	ビニールシートなどの敷物の上で使用すると、お湯に敷物のにおいが移ることがあります。	—
お湯にカルキのにおいがする。	水道水に含まれる消毒用の塩素の量により、カルキ臭が残ることがあります。	「カルキぬき」でお湯をわかしてください。	11
お湯がぬるい。	1杯目のお湯は水量表示計の水量管の中にたまっているお湯が給湯されるため、ぬるくなる場合があります。		—
内容器が汚れている。お湯に白い浮遊物が浮く。	水に含まれるミネラル成分の作用によるもので、内容器自体の変色や腐食、フッ素樹脂のはがれではありません。	内容器をクエン酸で洗浄してください。	12・13
湯わかし中に「ゴー」という音がする。	湯わかし中に発生する泡がはじける音で、故障ではありません。		8
	内容器が汚れていませんか。（内容器が汚れていると、特に音が大きくなります。）	内容器をクエン酸で洗浄してください。	12・13
プラスチック部分の一部に線状や波状の箇所がある。	これは樹脂成形時に発生する線状や波状の跡です。使用上の品質に支障はありません。		—

消耗部品について

ふたパッキンおよびその他のパッキン類は、消耗部品です。水質や使いかたにより異なりますが、ご使用にともない傷んできます。汚れや破損がひどくなったり、上ぶたのすき間から蒸気がもれだしたら、新しいふた（パッキン）と交換（有償）してください。

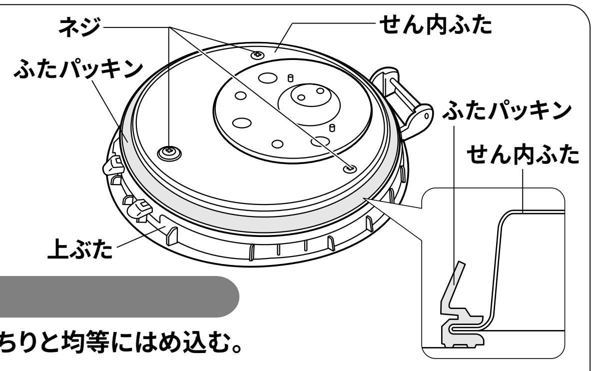
ふたパッキンのはずしかた

①３本のネジをゆるめる。



ネジはゆるめるだけで、せん内ふたを上ぶたからはずさないでください。完全にはずすと、その他の部品がはずれるなどして、蒸気もれやお湯が出ない原因になります。

②ふたパッキンをはずす。



ふたパッキンのつけかた

①せん内ふた外周に、ふたパッキンを図の通りにきっちりと均等にはめ込む。
②最後にネジを確実に締めつける。

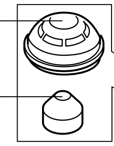
ふたパッキンは、お求めのタイガー製品販売店またはタイガーお客様ご相談窓口（連絡先→下記参照）で、部品番号:PDA1090とご指定の上、お問い合せください。
※ふたパッキンを交換しても、不具合のときは、その他のパッキン類・成形品などが傷んでいる場合がありますので、お問い合せの上、ご相談ください。

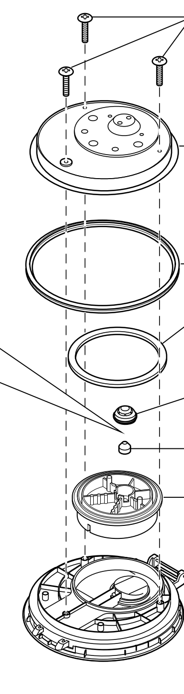
樹脂成形品について

※熱や蒸気にふれる成形品は、ご使用にともない傷んでくる場合があります。「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口、またはお買い上げの販売店にご相談ください。



せん内ふたやせん本体などが万一はずれた場合は、必ず右のイラストの通りの方向でセットしてください。間違うと、お湯がふきこぼれ、やけどをするおそれがあります。





メッシュフィルター

内容器のクエン酸洗浄時に取りつけて洗浄しても汚れが取れない場合は、交換してください。交換用のメッシュフィルターは、お求めのタイガー製品販売店またはタイガーお客様ご相談窓口（連絡先→下記参照）で、「タイガー電気ポット用交換用メッシュフィルター」部品番号:PVH1045とご指定の上、お問い合せください。

仕様

サイズ		2.2タイプ	3.0タイプ
容量（約）		2.15L	2.91L
電源		交流100V 50-60Hz	
消費電力	湯わかし電力	905W	
	平均保温電力	22W	23W
外形寸法（とっ手を倒した状態）	幅	22cm	22cm
	奥行	28.6cm	28.6cm
	高さ	25.5cm	29.5cm
質量（約）（電源コードを含む）		2.5kg	2.8kg
温度ヒューズ		152℃	
電動ポンプの定格（約）		1.5W	
コードの長さ（約）		1.2m	

※保温時の消費電力は、水量・満水、水温・90保温（約90℃）、室温・20℃、電圧・交流100Vの場合の平均保温電力です。
※特定地域（高山（こうざん）、厳寒地など）においては、所定の性能が確保できないことがあります。こうした場所での使用はお避けください。